

お得な前売券は限定1,000枚
お早目にお求めください



高橋タツ子さん 江刺区米里字北野 〓 同区梁川に生まれ、18歳で故・正治郎（しやうじろ）さんと結婚。3男1女をもうけ、現在孫8人、ひ孫10人に恵まれています。夫と共に水稲、葉タバコ、養蚕など農業を営み、大きな病気やけがもなく

国際会議最終日には、参加研究者のうち約100人がバス4台に分乗し、建設候補地である本市および一関市の視察を行いました。

トマス・アンナ国際化推進員が市内のガイドを務め、本市の概要や居住環境について説明すると共に、正法寺・黒石寺の名刹を紹介。その後休憩で立ち寄った大原市民センター（一関市）では、奥州・一関・気仙沼の3市の特色などをパネル紹介したほか、地元銘菓を振る舞いました。



現地視察の様子（一関市大東町大原付近）

国際会議では、主催する研究者組織リニアコライダー・

県南広域振興局が小学生を対象に募集した平成28年度コンクールに、市内から143点の応募がありました（応募総数264点）。入賞者の表彰と入賞作品の展示が次のとおり行われます。

■日時 1月22日

（表彰式）午後1時半～2時半、（展示会）正午～午後5時

■会場 市文化会館（Zホール）展示室

※市内の入賞者は後日紹介予定

95歳まで草取りに励んでいた。

記念品を受け取り 100歳を迎えた感謝を述べたタツエさん。長男の孝夫さん(80)は「好き嫌いなく何でも食べ特にあんこ餅が好き。今も食事は家族と同じものを食べています」と長寿の秘訣を語りました。



家族からお祝いの花束を受け取り笑顔
を見せるヤヨエさん



千葉克巳江刺総合支所健康福祉課長から
お祝いの品を受け取るタツエさん